

1 愛知県立大学

氏名	宮階 拓真 (みやしな たくま) <23歳>
所属等	外国語学部 ヨーロッパ学科 フランス語圏専攻 3年
成績内容	○外務省在外公館派遣員(※1)として在ブルキナファソ(※2)日本大使館で勤務し、2国間関係を促進するための日本文化広報等を行った。
備考	<p>○本学生は、2022年9月から2024年9月までの2年間、外務省在外公館派遣員として、在ブルキナファソ日本大使館で勤務した。フランス語運用能力を活かし、官房班と広報文化班として、外交の最前線とも言える日本大使館の運営を下支えする業務に従事した。</p> <p>○官房班では、主に会計補佐(現地人職員の労務管理)、日本からの出張者の対応(ホテル手配、公用車の配車、アポ取り等)、館員の国外出張にかかる航空券手配等を担当した。現地人運転手と相談しながら行う公用車の配車や、現地旅行代理店からの航空券購入は、特に綿密な打ち合わせを伴うため高度なフランス語運用能力が必要とされ、現地人職員とフランス語が不得手な日本人館員との間を取り持つなど、多方面にわたる調整力を身につけた。</p> <p>○広報文化班では、ブルキナファソにおいて日本文化を広めるための広報イベントの企画・運営や文部科学省国費留学生の選考業務を担当した。日本文化広報イベントでは、日本文化愛好団体やGoethe-Institut<small>ゲーテ・インスティテュート</small>(ドイツ政府の国際文化交流機関)と協力し、現地の若者を対象とした漫画イベント等を開催した。また、国費留学生の選考業務を通じて、当留学制度による渡日経験を有する元留学生に登壇してもらい日本留学説明会を行うなど、持続可能な留学制度運営にも貢献した。</p> <p>(※1) 外務省在外公館派遣員 外務省在外公館派遣員とは、労働者派遣法の下で、わが国の在外公館(大使館、総領事館、政府代表部、領事事務所)に派遣され、主として館務事務補佐などの実務面にあたる傍ら、国際社会での経験を積み、友好親善に寄与してもらおうとするもの。</p> <p>(※2) ブルキナファソ 西アフリカに位置する内陸国で人口は約2,325万人。主に農業が盛んで、綿花や家畜が主要産業。フランス語が公用語として使われている。</p>

氏 名	岩本 侑哉（いわもと ゆうや）＜24歳＞
所 属 等	大学院情報科学研究科 博士前期課程 2年
成 績 内 容	○最先端のバーチャルリアリティ技術を駆使し、プログラマとアーティストを兼ねるテクニカルアーティストとして全国規模で活躍した。また、これらの技術を活かしスタートアップ企業を共同設立し実績を上げた。
備 考	<p>○本学生は、最先端のバーチャルリアリティ技術を駆使し、プログラマとアーティストを兼ねるテクニカルアーティストとして全国規模で活躍をしている。</p> <p>○これらの技術を活かし、友人らとともに、VR コンテンツによりライブや企業広告を表現するスタートアップ企業「学檄」^{がくげき}（※1）を設立した。このスタートアップ企業の活動については、経済産業省・日本貿易振興機構「U25 起業家米国派遣プログラム」^{アスマック}（※2）や米国シリコンバレーアクセラレータプログラム「USMAC」^{アスマック}（※3）など、国内外のプログラムに採択されたほか、「産学連携推進機構（Tongali）」^{トンガリ}（※4）など、様々なプログラムコンテスト等で入賞・受賞などの成果を上げている。</p> <p>（※1）スタートアップ企業「学檄」^{がくげき} 2024年3月に創業されたスタートアップ企業。ユーザーが没入し、共有できる全く新しい、バーチャル体験を目指し、最先端の技術を駆使したVRエンターテインメント空間を研究・開発している。</p> <p>（※2）経済産業省・日本貿易振興機構「U25 起業家米国派遣プログラム」 若手起業家を対象に米国派遣で市場調査やネットワーク構築、事業拡大支援を行う革新性や成長性を持つと判断された、年間5社程度の企業が採択されるプログラム。</p> <p>（※3）米国シリコンバレーアクセラレータプログラム「USMAC」 海外企業のアメリカ市場参入を支援する組織である USMAC（U. S. Market Access Center）によるシリコンバレーで活動するアクセラレータプログラムで、革新性が高く、グローバル展開を目指すスタートアップのみが採択される。</p> <p>（※4）産学連携推進機構（Tongali） 中部地方を拠点とした産学連携型の起業支援プログラムで、大学や研究機関と連携し、アイデアの事業化や起業を支援する組織。</p>

2 愛知県立芸術大学

氏 名	福島 七海 (ふくしま ななみ) <24 歳>
所 属 等	大学院美術研究科 博士前期課程 (日本画領域) 2 年
成 績 内 容	<p>○第3回公募展「古川美術館 F アワード～次世代につなぐ」(2024 年) 大学生部門 大賞</p>  <p>第3回公募展「古川美術館 F アワード～次世代につなぐ」 大学生部門 大賞作品「HIKARI」</p>
備 考	<p>【公募展「古川美術館 F アワード」】 公益財団法人 古川知足会 古川美術館が主催する絵画公募展。財団設立 35 周年の記念事業として始まった本公募展は、東海 3 県在住の芸術を志す高校生と大学生を対象としている。公募展の名称は、主催者である古川美術館の「F」、未来 Future に「F」を重ね合わせて次世代をつくる学生たちへのエールの願いを込めて F アワードとしている。</p>

氏 名	伊藤 元太 (いとう げんた) <22 歳>
所 属 等	音楽学部 作曲専攻 作曲コース 4 年
成 績 内 容	<p>○令和 5 年度^{そうがくどう}奏楽堂日本歌曲コンクール 第 29 回作曲部門 第 1 位・畑中良輔賞 (同時受賞はコンクール初)</p> <p>○2024 年度北野生涯教育振興会 音楽奨学生</p> <p>○2024 年度^{だいこうざいだん}大幸財団 丹羽奨励生</p>
備 考	<p>【奏楽堂日本歌曲コンクール】 公益財団法人 台東区芸術文化財団が主催する日本歌曲の作曲コンクール。日本歌曲の普及と創造的発展を目指し、歌唱部門と作曲部門がある。音楽大学・大学院出身のプロの作曲家も応募するもので、作曲コンクールとしては、国内では最もレベルの高いコンクールの一つである。</p> <p>【北野生涯教育振興会】 1975 年スタンレー電気株式会社の創業者である北野隆春^{きたのたかはる}氏が設立。「いつでも どこでも だれでも」学ぶ機会を提供することを理念とし、生涯教育の振興を目的としている。</p> <p>【大幸財団丹羽奨励生】 公益財団法人大幸財団が、愛知県内の高校や大学、大学院に在籍する生徒・学生を対象として、芸術・文化や体育・スポーツ分野で優れた成果を上げた者を奨励・支援する制度。</p>

氏 名	三原 奏音 (みはら かなと) <21 歳>
所 属 等	音楽学部 器楽専攻 管打楽器コース (フルート) 2 年
成 績 内 容	<p>○第 27 回びわ湖国際フルートコンクール (2024 年) 一般部門 入選</p> <p>○第 35 回日本木管コンクール (2024 年) フルート部門 第 1 位・コスモス賞 (聴衆賞)</p>
備 考	<p>【びわ湖国際フルートコンクール】 世界各国より優秀なるフルート奏者を選出するとともに、フルートの委嘱作品を各国に広く紹介し、音楽芸術の発展と振興に寄与することを目的としたフルートの国際コンクール。1996 年に始まった本コンクールは、世界各国からフルート奏者を招待して行われる国際コンクールとして、多くの音楽家に影響を与えている。</p> <p>【日本木管コンクール】 兵庫県加東市、日本木管コンクール理事会及び NPO 法人「新しい風かとう」が主催する音楽コンクール。1990 年、旧兵庫県加東郡東条町 (現兵庫県加東市) が東条文化会館を建設した際、「東条町から日本全国に向けて文化の発信を」という思いから、第 1 回日本木管コンクール (フルート部門) を開催して誕生。以来、1 年も欠けることなく、毎年フルート部門とクラリネット部門を交互に開催している。</p>

